



豊里

爽やかな汗を流して地域交流

「豊里地区市民大運動会」(豊里コミュニティ推進協議会、佐々木信義会長)は9月1日、豊里総合運動公園で開かれ、地域住民約1250人が参加しました。運動会は、豊里町域内の19地区による対抗戦。和やかな雰囲気の中、11種目で接戦が展開されました。激戦の末、下町地区が優勝し、三連覇を達成。参加者らは、住民同士の交流を楽しみながら心地いい汗を流し、親睦を深めました。

働くメンズに向けた運動教室

「働き盛り世代の男性のための運動教室」は9月19日、米山農村環境改善センターで開かれ、市消防団米山支団の団員21人が参加しました。運動教室は、健康運動指導士の薄井愛氏を講師に招き、働き盛り世代の男性の生活習慣病予防を目的に開催。参加者は、握力測定、ステップングなどで年齢基準値と比較し、現状を見つめ直したり、普段の仕事中にできるストレッチを実践したりしながら、運動への意欲を高めていました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

明るい健康生活を送るために

「第65回登米市はさま女性のつどい」(同実行委員会主催、伊藤成子実行委員長)は9月14日、迫公民館で開かれ、迫地区の女性約120人が参加しました。当日は、佐沼警察署の交通課や生活安全課の署員が、高齢者の交通事故や特殊詐欺の防止について講話。講話後のレクリエーションでは、生活支援コーディネーターによる介護予防の体操教室が開かれ、自宅で簡単にできるストレッチなどを交えながら意見を交換しました。



石越

宮沢賢治の世界に思いを寄せ

「賢治をめぐって～朗読会とそれぞれの賢治～」(石越郷土史研究会主催、佐藤文則代表)は9月16日、「すってん☆ころりん」で開かれ、約30人の賢治愛好家が訪れました。当日は、宮沢賢治の代表作「雨ニモマケズ」などを、仙台放送「プライムニュース」、「スポルたん！NEO」などで活躍するナレーター松浦貴広氏が朗読。参加者は、松浦氏の心地いい声で語られる宮沢賢治の世界に耳を傾けながら、至福のひとつときを過ごしました。

ナスを片手に無事故呼び掛け

「交通事故茄子(無し)作戦」(登米地区交通安全母の会主催、佐藤和代会長)が9月24日、セブンイレブン登米町店前の県道交差点で実施されました。交通事故茄子作戦では、会員や登米署員ら18人が、事故が無くなるように思いを込めたナスや啓発チラシを配りながら、ドライバーに無事故を呼び掛けました。交差点で信号待ちをしていたドライバーらは、会員にねぎらいの言葉を掛けながら無事故を誓いました。



登米

交通安全願い込め折り鶴配布

「令和元年度南方地区交通安全母の会折り鶴作戦」(南方地区交通安全母の会主催、只野理恵会長)は9月21日、道の駅みなみかた「もっこのり」とウジエスーパー南方店で実施され、会員8人が参加しました。折り鶴作戦は、交通安全の願いを込めた折り鶴と啓発チラシを配り、交通安全意識の啓発や高揚を図ることが目的。会員らは、買い物に訪れた住民に折り鶴を配りながら、笑顔で交通安全を呼び掛けました。



南方



東和

長やりと共に掛け声大空高く

「綱木之里大名行列」(同保存会主催、佐藤裕孝会長)は9月15日、東和町米川地区で開かれ、会員や米川八幡神社の氏子、地域の子どもたちが稚児行列を組み、町中を練り歩きました。行列には、大きな轆馬や鮮やかな衣装を身にまとった奴が参列。威勢のいい掛け声と共に毛やりと呼ばれる長やりを投げる「お取替え」やきらびやかな衣装を身にまとった稚児行列に、観客からは大きな拍手と歓声が送られました。



津山

秋田ふれあい竿燈で豊作願う

「もくもくランドin秋田ふれあい竿燈」(津山浪漫thing、もくもくランド共催)は9月29日、道の駅津山もくもくランドで開かれ、本町六丁目竿燈会による65基の竿燈を操る演技が約2500人の観客を魅了しました。「秋田竿燈まつり」は、稲穂や米俵に見立てた竿燈を額や肩などに乗せて豊作を祈る東北三大祭りの一つ。演技後は、観客が実際に竿燈に触れたり、出演者と記念写真を撮ったりするなど、秋田文化との触れ合いを楽しみました。

快晴に恵まれスポーツ楽しむ

「第13回石森ふれあい運動会」(石森コミュニティ運営協議会、渡邊義昭会長)は9月8日、石森ふれあいセンターグラウンドで開かれ、石森地区の住民約千人が競技を楽しみながら親睦を深めました。運動会は、7種目の競技が実施され、行政区対抗で勝敗を競いました。今年から難易度が上がった増殖りレーや、玉入れ、綱引きなどに、客席からは大きな声援が送られました。白熱した競技の結果、表行政区が優勝を勝ち取りました。



中田